

授業科目	単位数	実務経験のある科目担当教員の氏名		
整体セラピスト学1	2	蓼田のり子	竹尾純子	
整体セラピスト学2	2	蓼田のり子	竹尾純子	
整体療法学1	2	蓼田のり子	長谷川徹	
整体療法学2	2	長谷川徹	蓼田のり子	
スポーツ実践指導法1	2	蓼田のり子	白井俊光	
スポーツ実践指導法2	2	蓼田のり子	白井俊光	
ボディケア理論1	2	蓼田のり子	西津 瞳	
ボディケア理論2	2	蓼田のり子	西津 瞳	
テーピング実習1	1	眞田能彰		
テーピング実習2	1	眞田能彰		
ボディケア実習1	1	蓼田のり子	西津 瞳	
ボディケア実習2	1	蓼田のり子	那須健一	
ボディケア実習3	1	蓼田のり子	眞田能彰	
ボディケア実習4	1	蓼田のり子	長谷川徹	
ボディケア実習5	1	蓼田のり子	長谷川徹	
ボディケア実習6	1	蓼田のり子	長谷川徹	
ボディケア実習7	1	蓼田のり子	白井俊光	
合 計	25			

科目区分	基礎分野	専門基礎分野		専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
	○				令和 3年度 整体セラピスト学科					
授業科目名	解剖学1				担当者名	白井 俊光、蓑田 のり子				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次		
単位数	2				授業時間数	前期 32	後期	前期	後期	前期 後期
授業概要	体表解剖学を学び、皮膚と筋膜構造、体の各部位の骨と骨指標の触診、靱帯や滑液包をはじめとする主要な関節構造を触診し確認できるようになる									
成績評価	出席状況、授業態度、小テスト、定期試験および追・再試験の結果で評価する									
その他	実務経験なし									

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	ボディナビゲーション ～触って分かる身体解剖～	Andrew Biel	医道の日本社
参考図書	人体の全解剖図鑑	水嶋章陽	日本文芸社

回数	授 業 計 画
1	上肢帯・肩関節の筋：脊柱ないし胸郭と上肢帯を結ぶ筋肉、体幹と上腕を結ぶ筋肉、肩関節周囲の筋肉をイラストと筋肉名を書き出して理解する
2	上腕・前腕・手の筋：上腕二頭筋、円回内筋、長母指伸筋等のイラストと筋肉名を書き出して理解する
3	体幹の筋：体幹の規律に関する体幹の筋は大きく分けると背部筋群と腹部筋群になる、背部筋群と腹部筋群のイラストと筋肉名を書き出し理解する
4	下肢帯・大腿の筋：骨盤を固定する骨盤筋、内転筋、伸筋、屈筋に分けられる大腿の筋肉のイラストと筋肉名を書き出して理解する
5	下腿の筋：下腿の屈筋、足関節および足趾を動かす伸筋に分かれる下腿の筋、深さが第1層～4層までである足の固有筋のイラストと筋肉名を書き出し理解する
6	〔肩部と上腕部〕：肩部と上腕部の筋肉、補助筋、三角筋～僧帽筋 筋肉・筋群および周囲構造についての理解を深める
7	〔肩部と上腕部〕：広背筋・大円筋・肩回旋筋群・肩回旋筋群の腱 肩部周囲の正しい触診と、運動による筋の収縮と骨の動きを学ぶ
8	〔肩部と上腕部〕：大・小菱形筋・肩甲挙筋・前鋸筋・大胸筋、肩甲骨の内側縁と胸椎棘突起間にある筋肉組織の異なる層を探索と大胸筋の探索について学ぶ
9	〔肩部と上腕部〕：小胸筋・鎖骨下筋・上腕二頭筋・烏口腕筋、その他の構成体、小胸筋が呼吸に関係すること、表層と深層の探索のための体位を学ぶ
10	理解度確認試験：身体探索・肩部と上腕部についての理解度を確認する
11	〔前腕部と手部〕：体表解剖図・皮膚と筋膜の触診・前腕部と手部の骨・他動運動による皮膚や筋膜の伸びと、指標となる骨を正しく触診することを学ぶ
12	〔前腕部と手部〕：上腕筋・腕橈骨筋・前腕から指の屈筋群と伸筋群・円回内筋・回外筋、主に手関節や指の運動をつかさどる前腕の筋肉について学ぶ
13	〔前腕部と手部〕：母指と手の筋肉・母指の長筋・母指の短筋・小指対立筋、手の掌側と背側の筋肉を浅層・中間層・深層に分けて学ぶ
14	〔前腕部と手部〕：その他の構成体、靱帯・神経・滑液包・手関節の屈筋支帯と伸筋支帯・手掌腱膜と、触診する際のもう一方の手の位置についても学ぶ
15	理解度確認試験・解答解説
16	期末試験 まとめ

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校						
	○						令和 3年度 整体セラピスト学科						
授業科目名	解剖学2					担当者名		蓑田 のり子、白井 俊光					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次			
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
						32							
授業概要	体表解剖学を学び、皮膚と筋膜構造、体の各部位の骨と骨指標の触診、靱帯や滑液包をはじめとする主要な関節構造を触診し確認できるようになる												
成績評価	出席状況、授業態度、小テスト、定期試験および追・再試験の結果で評価する												
その他	実務経験なし												

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	ボディナビゲーション ～触って分かる身体解剖～	Andrew Biel	医道の日本社
参考図書	人体の全解剖図鑑	水嶋章陽	日本文芸社

回数	授 業 計 画
1	[脊柱と胸郭]：体表解剖図・皮膚と筋膜の触診・脊柱と胸郭の骨・組織の弾力性や厚さの違いを探索する、脊柱と胸郭の役割と骨の形状の違いを学ぶ
2	[脊柱と胸郭]：骨指標トレイル1～3 指標となる骨の正確な触診と骨の形状、体型により道標として活用することも学ぶ
3	[脊柱と胸郭]：骨指標トレイル4～6、脊柱と胸郭の筋肉、胸腰椎の横突起・肋骨・肋軟骨の触診、脊柱起立筋・横突棘筋・板状筋・後頭下筋群について学ぶ
4	[脊柱と胸郭]：後頸部の筋肉層、頸部と胸郭の横断面、補助筋・脊柱起立筋、脊柱筋の浅層・中間層・深層筋、横断面部による筋や内臓の位置を学ぶ
5	[脊柱と胸郭]：横突棘筋・頭板状筋・頸板状筋・後頭下筋群・腰方形筋・腹部の筋肉群脊柱の深層の筋肉の触知と作用、腹部の筋肉と呼吸との関係を学ぶ
6	[脊柱と胸郭]：横隔膜・肋間筋・横突間筋・棘間筋・その他の構造体、横隔膜が独特な形状と機能であること、靱帯・腹大動脈・関節・椎間板について学ぶ
7	理解度確認試験：脊柱と胸郭についての理解度を確認する
8	[頭部・頸部・顔面部]：体表解剖図・皮膚と筋膜の触診・骨と骨指標トレイル、頭皮の触診、頭蓋骨の繊維性の連結を学び指標となる骨を触診する
9	[頭部・頸部・顔面部]：骨指標トレイル1～3、後頭骨の筋付着部について学び、側頭骨・下顎骨・甲状軟骨・舌骨の形状を学び触診する
10	[頭部・頸部・顔面部]：頭部・頸部・顔面部の筋肉・補助筋・胸鎖乳突筋、頭部と顔面部の動きに関わる筋肉について学び触診する
11	[頭部・頸部・顔面部]：斜角筋・咬筋・側頭筋・舌骨上筋群・顎二腹筋 斜角筋の役割と腕神経叢、舌・下顎の運動に関わる筋について学び触診する
12	[頭部・頸部・顔面部]：舌骨下筋群・広頸筋・後頭前頭筋・内側翼突筋・外側翼突筋・頸長筋、舌・下顎・の運動、表情に関わる筋について学び触診する
13	[頭部・頸部・顔面部]：顔の表情筋～頭蓋の筋肉 表情に関わる筋について学び触診する
14	[頭部・頸部・顔面部]：その他の構造体 触診可能な動脈・腺・神経の触診法を学ぶ
15	理解度確認試験・解答解説
16	期末試験 まとめ

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校					
	○						令和 3年度 整体セラピスト学科					
授業科目名	生理学1					担当者名		蓑田 のり子、那須 健一				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
						32						
授業概要	”身体を構成する細胞・遺伝子・組織・循環器・消化器系・呼吸器系・泌尿器のしくみとはたらきを学び理解する。また、関連する病気の原因・症状などについて学び理解する。 復習テストと単元テストで理解度を確認する。 ”											
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・復習テスト・単元テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する											
その他	実務経験なし											

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	ぜんぶわかる人体解剖図	坂井建雄/橋本尚詞	成美堂
参考図書	人体の全解剖図鑑	水嶋章陽	日本文芸社

回数	授 業 計 画
1	細胞と遺伝子のしくみ：細胞の構造、DNAと遺伝子、染色体の構造、組織(上皮・筋・結合・神経) 細胞遺伝子の病気：ﾀﾞｳﾝ症・ｴﾄﾞﾜｰﾄﾞ症候群・筋ｼｽﾄﾚﾐｰ
2	復習小テスト① 循環器系：循環器の概要、血液の循環（肺循環・体循環）、体幹・上肢・下肢・内臓の循環ルート、動脈・静脈の構造と特徴を図を用いて理解する
3	復習小テスト② 循環器系：血液の成分（赤血球・白血球など）と働き、血液が凝固する仕組み、免疫に関わる細胞と免疫のしくみ、ﾘﾝﾊﾞ管の役割、走行を図を用いて理解する
4	復習小テスト③ 循環器系：心臓の構造（心室・心房の位置関係）、刺激伝導系の構造、拍動のしくみと心周期、脾臓の働きやしくみの問題演習や図を用いて理解する
5	復習小テスト④ 循環器系の主な病気：悪性ﾘﾝﾊﾞ腫・膠原病・血友病・白血病・貧血の原因と症状をについて、学習してきた内容の復習を進めながら学ぶ
6	復習小テスト⑤、循環器系の主な病気：虚血性心疾患・心筋症・心不全・動脈瘤・不整脈・膠原病・血友病・白血病の原因と症状について学ぶ
7	単元テストⅠ（循環系）：復習小テストより出題し理解度を確認する 消化器系：消化器の概要、消化管の基本構造と分布する血管、消化と吸収のしくみを図を用いて理解する
8	復習小テスト⑥ 消化器系：咽頭・喉頭の構造と働き、食物を口腔から食道・胃へと送る流れ、食道の基本構造と働き、歯の仕組みと構造を図を用いて理解する
9	復習テスト⑦ 消化器系：大腸・直腸・肛門の構造とはたらき、消化と吸収の仕組みと消化に必要な主な消化酵素、肝臓のしくみ、胆嚢と胆路を図を用いて理解する
10	復習テスト⑧ 消化器系の主な病気：食道癌・胃炎・胃潰瘍・十二指腸潰瘍・大腸癌・肝硬変の原因と症状について、学習してきた内容の復習を進めながら学ぶ
11	復習小テスト⑨ 呼吸器系：呼吸時の咽頭・喉頭のはたらき、気管の役目、胸壁・縦隔の構造と役割、肺・肺胞の構造とガス交換のしくみを図を用いて理解する
12	復習小テスト⑩ 呼吸器系の主な病気：副鼻腔炎・ｱﾙﾙｰｷ性鼻炎・気管支喘息・肺癌・自然気胸の原因と症状について、学習してきた内容の復習を進めながら学ぶ
13	単元テストⅡ（呼吸器系）：復習小テストより出題し理解度を確認する。 泌尿器系：腎臓の構造と仕組み、腎臓から尿が体外に排出される流れを図を用いて理解する
14	復習小テスト⑪ 泌尿器系：糸球体で血液から水分を吸収し、尿生成を行うメカニズム、膀胱の構造やはたらき、排尿反射のしくみ、男女の尿道の違いを図を用いて理解する
15	単元テストⅢ（泌尿器系）：復習小テストより出題し理解度を確認する 総復習
16	期末試験 解答・解説

科目区分	基礎分野	専門基礎分野		専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
	○				令和 3年度 整体セラピスト学科					
授業科目名	生理学2				担当者名		蓑田 のり子、那須 健一			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次		
単位数	2				授業時間数	前期 32	後期	前期	後期	前期 後期
授業概要	”脳のしくみとはたらき・神経系・内分泌系・生殖器・感覚器を学び理解する。また、関連する病気の原因・症状などについて学び理解する。 復習テストと単元テストで理解度を確認する。”									
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・復習テスト・単元テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する									
その他	実務経験なし									

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	ぜんぶわかる人体解剖図	坂井建雄/橋本尚詞	成美堂
参考図書	人体の全解剖図鑑	水嶋章陽	日本文芸社

回数	授 業 計 画
1	脳のしくみとはたらき：大脳の区分や構造としくみ、小脳と脳幹（間脳・中脳・橋・延髄）のはたらき、脳を保護する仕組みを図を用いて理解する
2	復習テスト① 脳のしくみとはたらき：大脳辺縁系の構成（扁桃体・海馬・帯状回）の構造や役割、大脳基底核のはたらき、仕組みについて図を用いて理解する
3	復習小テスト③ 脳のしくみとはたらき：神経細胞（ニューロン）の仕組みと構造、神経細胞における刺激の伝達、神経細胞・シナプスにおける刺激の伝達を理解する
4	復習小テスト④ 脳のしくみとはたらき：中枢神経と末梢神経の違いと役割、灰白質と白質の違い、脳幹（間脳・中脳・橋・延髄）の主な神経の配置流れを理解する
5	復習小テスト⑤ 脳のしくみとはたらき：脊髄神経の仕組みと構成、運動神経、知覚神経の伝導路、自律神経（交感神経、副交感神経）の働きと走行（伝導路）を理解する
6	復習小テスト⑥ 脳の主な病気：脳梗塞・クモ膜下出血・脳腫瘍・アルツハイマー型認知症の原因と症状について学習してきた内容の復習を進めながら学ぶ
7	単元テストⅠ（脳のしくみとはたらき） 内分泌系：内分泌系の概要、全身の主な内分泌器官とホルモンのはたらき、内分泌腺と外分泌腺の違いを図を用いて理解する
8	復習小テスト⑦ 内分泌系：ホルモン分泌のメカニズム（ホルモン生成）、分泌の調整・フィードバック（分泌が促進・抑制される）基準・目的・仕組みを理解する
9	復習小テスト⑧ 内分泌系の病気：糖尿病・甲状腺機能亢進症（バセドウ病）・クッシング病の原因や症状について、学習してきた内容の復習を進めながら学ぶ
10	復習小テスト⑨ 生殖器：女性生殖器と受精の仕組み（排卵から受精・着床まで）について、卵巣と子宮の性周期、胎児と胎盤の血液循環の仕組みを図を用いて理解する
11	復習小テスト⑩ 生殖器・泌尿器の主な病気：腎炎・尿路結石・前立腺癌・乳癌・慢性腎臓病・急性腎炎の原因や症状について、学習してきた内容の復習を進めながら学ぶ
12	復習小テスト⑪ 感覚器：皮膚の構造（表皮・真皮・皮下組織）や感覚（触覚・痛覚）受容器、付属腺について、眼の構造ものが見える仕組みについて理解する
13	復習小テスト⑫ 感覚器：耳の構造（外耳・中耳・内耳）、音が伝わる仕組みや平衡感覚、鼻の構造（鼻腔・副鼻腔）、においを感じる仕組み、味覚の仕組みを理解する
14	復習テスト⑬ 感覚器の主な病気：アトピー性皮膚炎、白内障、緑内障、メニエル病、知覚障害の原因や症状について、学習してきた内容の復習を進めながら学ぶ
15	単元テストⅡ（内分泌・生殖器・感覚器）：復習小テストより出題し理解度を確認する 総復習
16	期末試験 解答・解説

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
		○		令和 3年度	整体セラピスト学科				
授業科目名	一般臨床医学1			担当者名	蓑田 のり子、西津 瞳				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次	
単位数	2				授業時間数	前期 32	後期	前期	後期
授業概要	リフレクソロジー（足の反射療法）、リンパドレナージュ（下肢）・眼精疲労&ヘッドケア、骨盤矯正の手技の修得を目標とする。 身体のあるゆる部位が反射投影され繋がっていることを学ぶ。現場で活かせる接遇と技術の向上を目的とする								
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・小テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する								
その他	実務経験なし								

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	六花スクールオリジナルテキスト	六花スクール	
参考図書	整体セラピストになる [3級]	山本珠美	B A B ジャパン

回数	授 業 計 画
1	リフレクソロジー <実技>実技の準備（ベッドメイク、備品・消耗品類、ホットタオル作り）、コットンによる洗浄方法、片付け等の注意点を学ぶ
2	リフレクソロジー <実技・左足>ペアを組み、洗浄後実際にオイルを使用し学ぶ 姿勢を意識しながら膝下のオイル塗布・軽擦・デザート（4種）・足裏の手技を学ぶ
3	リフレクソロジー <実技>時間計測20分、施術の前後の効果体験しお互いフィードバックすることでスキルアップを目指す
4	リフレクソロジー <確認テスト実施①>反射区の理解、手順の習得確認
5	リンパドレナージュ（脚）<実技>実技の準備 コットンによる洗浄方法、片付け等の注意点を学ぶ 施術する際の立ち位置・姿勢や軽擦・足裏のツボを学ぶ
6	リンパドレナージュ（脚）<実技>時間計測20分、施術の前後の効果体験しお互いフィードバックすることでスキルアップを目指す
7	校内サロンシミュレーションにて自分を成長させる（社会人基礎力） 施術を施し「ありがとう」と言われる体験をする。合せて店舗運営を学ぶ
8	小テスト：理解度の確認を行う
9	眼精疲労マッサージ <実技（仰臥位）>ベッドメイク、頸部・フェイスライン顔面のツボ（16カ所）へのアプローチを学ぶ
10	ヘッドケア <実技（仰臥位）> 施術の時間計測30分、継続した次回の施術に繋がる提案と伝え方を学ぶ
11	眼精疲労&ヘッドケア <実技（仰臥位）>接客対応・誘導・施術の時間計測20分、継続した次回の施術に繋がる提案と伝え方を学ぶ
12	骨盤矯正 <実技>姿勢8ポイントチェックについて学び、ペアでチェックする。
13	骨盤矯正 <実技>側臥位にて股関節矯正ストレッチ、ウエストくびれ手法を学ぶ
14	骨盤矯正 <実技>手順の確認（姿勢8ポイントチェック⇒腹臥位⇒側臥位⇒仰臥位）
15	骨盤矯正 <実技>手順の習得確認・時間計測30分、期末試験対策
16	期末試験 まとめ

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
		○		令和 3年度	整体セラピスト学科				
授業科目名	一般臨床医学2			担当者名	蓑田 のり子、西津 瞳				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期
						32			
授業概要	猫背矯正・小顔矯正・腸セラピーの理論・手技の修得を目標とする これまで習った技術を復習し、様々な対応が可能な知識技術と接客を身につける。また、校内サロンシュミレーションにて社会人基礎力を学ぶ								
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・小テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する								
その他	実務経験なし								

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	六花スクールオリジナルテキスト	六花スクール	
参考図書	整体セラピストになる [3級]	山本珠美	B A B ジャパン

回数	授 業 計 画
1	校内サロンシュミレーション準備として、時間内施術・接遇を徹底するためロールプレイングとフィードバックを実施 リーダーによる最終確認作業を実施
2	第3回校内サロンシュミレーションにて自分を成長させる（社会人基礎力） 施術を施し「ありがとう」と言われる体験をする 併せて店舗運営を学ぶ
3	校内サロンシュミレーションの改善点をふまえた施術の復習を行う
4	猫背矯正 ＜実技＞（腹臥位）上背部の施術、（側臥位）肩関節周囲の施術を学ぶ。
5	猫背矯正＜実技＞腹臥位⇒側臥位⇒仰臥位の施術の復習、ペアを変えながら施術時間（15分）を意識した繰り返し練習を行う フィードバックにて改善点を把握する
6	猫背矯正＜実技＞時間計測15分：猫背チェック法と一連の施術と、スマートフォンアプリによる歪み改善チェックを活用
7	小顔矯正＜実技＞歪みを判断する：①座位と仰臥位時の開口時と閉口時の写真を撮る ②実際に触り、さゆうのバランスをみる
8	小顔矯正＜実技＞頸部・顎周囲・側頭筋のほぐし方、頬骨・顎への持続圧の練習 施術の前後の顎関節の開き・頬骨の高さ・顔幅を比較する
9	小顔矯正＜実技＞カウンセリング・写真撮影・施術・施術後の比較まで時間計測（20分）を行う フィードバックにて改善点を把握する 小テスト：理解度の確認を行う
10	腸セラピー＜実技＞カウンセリングとリラックスしてもらう方法を学ぶ 腹部（横隔膜下・小腸・大腸）の圧迫、腰部の施術を学ぶ
11	腸セラピー＜実技＞時間計測（15分）をし、フィードバックにて改善点を把握する
12	＜実技総復習＞来店⇒カウンセリング⇒施術⇒クロージングまでの実践を積む疑似トレーニングを行う
13	校内サロンシュミレーション準備として、時間内施術・接遇を徹底するためロールプレイングとフィードバックを実施 リーダーによる最終確認作業を実施
14	第4回校内サロンシュミレーションにて自分を成長させる（社会人基礎力） 施術を施し「ありがとう」と言われる体験をする 併せて店舗運営を学ぶ
15	期末試験対策：これまでに習得した施術理論の確認
16	期末試験 まとめ

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
		○		令和 3年度	整体セラピスト学科				
授業科目名	保健体育理論1			担当者名	得本 啓次				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次	
単位数	2				授業時間数	前期 32	後期	前期	後期
授業概要	“健康スポーツは身体を動かすことを楽しみ、生活に役立つ健康な身体と心を維持増進することを目的とする。 適切な指導を行えることが、今後の健康の維持増進に必要不可欠であるため、子どもから高齢者の特徴について学んでいく。” 本講義は生涯スポーツトレーナー（ベーシック）の資格取得を目指す								
成績評価	レポート30%，試験70%								
その他	実務経験なし								

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	改訂版 生涯スポーツトレーナー教本	“公益財団法人 日本健康スポーツ連盟・編集	学校法人 国際学園
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	1) ガイダンス, 2) 生涯スポーツトレーナーとは 【動画：水嶋理事長】, 3) 生涯トレーナー概論（教本）
2	1) 脳トレ①
3	1) 脳トレ②
4	1) 脳トレ③
5	1) ロジックブレインについて
6	1) e-learning, 人体の区分と名称 (6分), 身体の方角をあらわす用語 (16分), 代表的な関節運動 (15分), 脊柱 (14分) 2) 解剖生理学 (教本)
7	1) e-learning骨の役割 (4分), 骨の構造 (9分), 筋の分類 (3分), 骨格筋について (6分), 2) 骨と関節のしくみとほたらき (教本)
8	1) e-learning, 筋収縮のメカニズム①② (8分) (6分) 2) 筋肉のしくみとほたらき (教本)
9	“1) e-learning「スポーツ」「運動」の必要性 (7分), ファンクショナルトレーニングとは (14分), 正しい姿勢とプランク (24分),
10	1) e-learning, 基礎動作の重要性 (11分) 上肢の動きについて (13分), 下肢の動きについて (15分), 2) 発達障害と不器用さ (教本)
11	“1) e-learning全身を連動させた回旋運動について (16分), プログラミングの重要性について (12分), 運動指導におけるコーチングについて (31分)
12	1) e-learning子ども、高齢者運動指導の基礎知識 (22分), 高齢者の運動指導 (23分)
13	1) e-learning児童期の運動指導 (17分), 2) 高齢者の身体とトレーニング (教本), 3) 子どもの身体とトレーニング (教本)
14	1) e-learning医療行為と医療類似行為 (11分), 禁止事項 (11分) 2) 用語解説 (教本)
15	まとめ
16	1) 生涯スポーツトレーナーベーシック試験 2) スポーツトレーナー【出水先生】

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
		○		令和 3年度	整体セラピスト学科				
授業科目名	保健体育理論2					担当者名	得本 啓次		
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次	
単位数	2				授業時間数	前期 32	後期	前期	後期
授業概要	健康スポーツは身体を動かすことを楽しみ、生活に役立つ健康な身体と心を維持増進することを目的とする。適切な指導を行えることが、これからの健康の維持増進に必要不可欠であるため、子どもから高齢者の特徴について学んでいく。本授業は主に実技指導を中心に行う。 生涯スポーツトレーナー（アドバンス）の資格取得を目指す								
成績評価	レポート提出で評価する。								
その他	実務経験なし								

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	”生涯スポーツトレーナー教本 世界一わかりやすいパーソナルストレッチ 背骨コンディショニング		
参考図書			

回数	授 業 計 画	
1	ガイダンス（受講上の注意等）、生涯スポーツトレーナーアドバンスについて	
2	背骨コンディショニング	基礎理論
3	背骨コンディショニング	アライメントチェック、体操
4	パーソナルストレッチ	シェイキング（上半身、下半身）
5	パーソナルストレッチ	ムービング（上半身、下半身）
6	発育発達と不器用さ	理解と指導上の留意点
7	発育発達と不器用さ	感覚・運動機能の臨床観察法
8	高齢者と子どもの運動指導	高齢者に必要な運動・指導
9	高齢者と子どもの運動指導	年齢に合った運動選択と指導
10	ファンクショナルトレーニング	日常で出来る運動
11	ファンクショナルトレーニング （プランク、プル、プッシュ、ヒンジ、スクワット、ランジ、ローテーション）	7つ基礎動作
12	（Ｔボール） 1/4 講義	概論，必要性，魅力
13	（Ｔボール） 2/4 講義	ルール，審判方法，運営方法，指導法
14	（Ｔボール） 3/4 実技	捕る投げる打つの基礎動作
15	（Ｔボール） 4/4 実技	ゲーム形式練習
16	まとめ・終講試験（課題提出）	

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
		○		令和 3年度	整体セラピスト学科				
授業科目名	整体セラピスト学1			担当者名	蓑田 のり子、竹尾 純子				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次	
単位数	2				授業時間数	前期 32	後期	前期	後期
授業概要	セラピストとして、社会人としての基本的コミュニケーションスキルとは何かを学び、より良い人間関係の築きに役立つ情報を習得する。								
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・小テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する								
その他	蓑田のり子・竹尾純子（整体院において整体セラピストとして勤務）								

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書			
参考図書	選択理論心理学	W・グラッサー	アチーブメント出版

回数	授 業 計 画
1	コミュニケーション入門①：コミュニケーションの第一歩は「自己認知」から。自分が目指すモノやコト、どんな未来を描いているのか？自分の取扱説明書を作成する。
2	コミュニケーション入門②：コミュニケーションの第一歩は「自己認知」から。自分が目指すモノやコト、どんな未来を描いているのか？自分の取扱説明書を作成する。
3	選択理論心理学①：「選択理論心理学」とは、より良い人間関係を築く心理学で、自分の行動は自分が選択できるという考え方を軸に、選択理論心理学の基礎を学ぶ。
4	選択理論心理学②：選択理論心理学の中でも特に大切な4つの要素①全行動②5つの基本的欲求③創造性④7つの習慣について学ぶ。
5	選択理論心理学③：選択理論心理学元に、問題解決シュミレーションを実践。日常的によく見られる人間関係の摩擦や悩みについて、解決する方法を身につける。
6	社会人基礎力①：社会人基礎力とは何か。社会に順応していける人財力を身につける。また、コントロールできること、できないことに物事を分けられるようになる
7	社会人基礎力②：・前に踏み出す力「アクション」・考え抜く力「シンキング」・チームで働く力「チームワーク」の3つの軸をサロンシュミレーションにて実践に活かす。
8	リーダーシップ力①：リーダーシップ力とは、肩書きや経験値によらない誰もが発揮できる影響力のことであり、社会でどのように影響していくのか疑似体験を元に学ぶ。
9	リーダーシップ力②：人と接する・対話する等、身につけておきたいスキルの「リフレーミング」を活用して、肯定的解釈を与えられるリーダーシップ力を学ぶ。
10	チームビルディング力①：1つの目標に向かい、チームメンバーと気持ちを一つにして目標達成できる強い組織づくりを目指す。違いを認め合う思考力を身につける。
11	チームビルディング力②：目標に向かい、メンバーと気持ちを一つにして目標達成できる強い組織づくりを目指す、ゲーム感覚で行う体験型授業「正しさを手放し受容する」
12	チームビルディング力③：1つの目標に向かい、チームメンバーと気持ちを一つにして目標達成できる強い組織づくりを目指す。ゲーム感覚で行う体験型授業。「伝達力」
13	初級カウンセリング術①セラピストに重要なのは相手の上質世界に自分を入れてもらうこと。リピーターを生み出すカウンセリング術とファンを作るコミュニケーション能力を養う。（座学）
14	初級カウンセリング術②：セラピストに重要なのは相手の上質世界に自分を入れてもらうこと。リピーターを生み出すカウンセリング術とファンを作るコミュニケーション能力を養う。（実践）
15	期末試験対策
16	期末試験 解答・解説

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
		○		令和 3年度	整体セラピスト学科				
授業科目名	整体セラピスト学2			担当者名	蓑田 のり子、竹尾 純子				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次	
単位数	2				授業時間数	前期 32	後期	前期	後期
授業概要	セラピストとして必要な対話術を土台に、ニューノーマル時代も切り拓いていける最新のコミュニケーションを学ぶ。オンラインでも築いていける信頼関係、SNSなどの自分を発信できるツールを基礎学を養う。								
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・小テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する								
その他	蓑田のり子・竹尾純子（整体院において整体セラピストとして勤務）								

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書			
参考図書	ソーシャルメディア成功の方程式	末広栄二	日本経済新聞出版社

回数	授 業 計 画
1	自分を表現する①：ソーシャルメディアとは、誰もが参加できる広範囲的な情報発信技術。主にSNSを用いて自己表現力を効果的に高める方法を検討する。
2	自分を表現する②：ソーシャルメディアとは、誰もが参加できる広範囲的な情報発信技術。主にSNSを用いて自己表現力を効果的に高める方法を検討する。
3	自分を表現する③：人の第一印象は3秒以内に決まり視覚情報に影響を受ける割合は55%。「印象」というものをより深く掘り下げ顧客に良い印象を与える技術を習得する。
4	自分を表現する④：自分の思考や感情を相手に効果的に伝える力を身につける。喜怒哀楽の表現力や語彙力も同時に高める学習法を取り入れる。
5	中級カウンセリング術①：セラピストに重要なのは相手の上質世界に自分を入れてもらうこと。リピーターを生み出すカウンセリング術とファンを作るコミュニケーション能力を養う。（実践）
6	中級カウンセリング術②：セラピストに重要なのは相手の上質世界に自分を入れてもらうこと。リピーターを生み出すカウンセリング術とファンを作るコミュニケーション能力を養う。（実践）
7	【中間テスト】自己表現1分プレゼンテーション大会
8	マーケティング入門①：まずはマーケティングの全体像を把握する。マーケティングは「顧客を想像し、市場を創造すること」。徹底的な顧客視点に立ちシミュレーションを行う。
9	マーケティング入門②：手法その1《集客》良い技術や良いサービスであっても、それをお客様に届けることができないければ意味がない。集客5つの経緯について学ぶ
10	マーケティング入門③：手法その2《セールス》集客ができたとしても、お客様が行動変容を起こさない限りリピートには繋がらない。ここではセールスマーケティングの4ステップを学ぶ。
11	マーケティング入門④：手法その3《分析》集客とセールスの両輪を回し、それを支えるのが分析。分析に必要なPDCAを学ぶ。
12	マーケティング入門⑤：「新規店舗開業」を題材に、1つの整体院を創り上げるシミュレーションをグループワークにて行う。
13	上級カウンセリング術①：セラピストに重要なのは相手の上質世界に自分を入れてもらうこと。リピーターを生み出すカウンセリング術とファンを作るコミュニケーション能力を養う。（実践）
14	上級カウンセリング術②：セラピストに重要なのは相手の上質世界に自分を入れてもらうこと。リピーターを生み出すカウンセリング術とファンを作るコミュニケーション能力を養う。（実践）
15	期末試験対策
16	期末試験 解答・解説

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校						
			○				令和 3年度 整体セラピスト学科						
授業科目名	整体療法学1					担当者名		蓑田 のり子、長谷川 徹					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次			
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
							32						
授業概要	“整体セラピストとしての手技の修得を目的とする ここでは側臥位・座位での経絡指圧をマスターする また、臨床現場に即した手技を学び、基本施術をもとに、独自で全身施術（40分間）の整体法を考案する”												
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・小テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する												
その他	蓑田 のり子・長谷川 徹（整体院において整体セラピストとして勤務）												

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	経絡指圧 基本 全身指圧テキスト	藤崎 信行	経絡指圧普及会
参考図書	ボディ・ナビゲーション	Andrew Biel	医道の日本社

回数	授 業 計 画
1	校内サロンシミュレーションの事前準備、誘導の仕方を学ぶ①
2	校内サロンシミュレーションの事前準備、誘導の仕方を学ぶ②
3	“側臥位での頸・背・腰・臀部へのアプローチ① 妊婦さんなどの腹臥位が困難な方への手技を学び修得する”
4	“側臥位での頸・背・腰・臀部へのアプローチ② 妊婦さんなどの腹臥位が困難な方への手技を学び修得する”
5	“座位での頸・肩・背部へのアプローチ① 車椅子利用者さんなどへの手技を学び修得する”
6	“座位での頸・肩・背部へのアプローチ② 車椅子利用者さんなどへの手技を学び修得する”
7	側臥位～座位までのアプローチを通して学び修得する①
8	側臥位～座位までのアプローチを通して学び修得する②
9	“経絡指圧を応用する① 頸肩部痛を緩和することを学び修得する
10	“経絡指圧を応用する② 頸肩部痛を緩和することを学び修得する”
11	校内サロンシミュレーションの事前準備、誘導の仕方を学ぶ③
12	“腰痛に対するアプローチ法の1つを学ぶ 腹臥位で腰椎の違和感を頸椎へのアプローチで緩和することを学ぶ①”
13	“腰痛に対するアプローチ法の1つを学ぶ 腹臥位で腰椎の違和感を頸椎へのアプローチで緩和することを学ぶ②”
14	“腰痛に対するアプローチ法の1つを学ぶ 腹臥位で腰椎の違和感を頸椎へのアプローチで緩和する事を学ぶ③”
15	“ランニング後のクールダウンの手技を学ぶ 部位別：上半身施術・下半身施術（各10分施術）”
16	期末試験 まとめ

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校			
		○		令和 3年度	整体セラピスト学科		
授業科目名	整体療法学2			担当者名	長谷川 徹、蓑田 のり子		
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次
単位数	2				授業時間数	前期	後期
						32	
授業概要	“整体セラピスト3級検定の合格を目的とする ここでは主訴に応じた検査と検査結果に伴う施術を修得する 臨床現場に即した手技を学ぶ”						
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・小テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する						
その他	長谷川 徹・蓑田 のり子（整体院において整体セラピストとして勤務）						

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	整体セラピストになる3級	山本 珠美	
参考図書	柔道整復学・理論編 改訂第6版 柔道整復学・理論編 改訂第6版	公益社団法人全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授 業 計 画
1	校内サロンシミュレーションの事前準備、誘導の仕方を学ぶ①
2	校内サロンシミュレーションの事前準備、誘導の仕方を学ぶ②
3	“臨床現場に即した手技を学ぶ① 頸部の検査法を学ぶ(柔道整復学理論書付録を参照する)”
4	“臨床現場に即した手技を学ぶ② 肩部の検査法を学ぶ(柔道整復学理論書付録を参照する)”
5	“臨床現場に即した手技を学ぶ③ 上腕部の検査法を学ぶ(柔道整復学理論書付録を参照する)”
6	“臨床現場に即した手技を学ぶ④ 肘・前腕部の検査法を学ぶ(柔道整復学理論書付録を参照する)”
7	“臨床現場に即した手技を学ぶ⑤ 腰部の検査法を学ぶ(柔道整復学理論書付録を参照する)”
8	“臨床現場に即した手技を学ぶ⑥ 膝部の検査法を学ぶ(柔道整復学理論書付録を参照する)”
9	“整体セラピスト3級検定を想定した部位別の施術を学び、修得する① 頸部：これまで修得してきた手技を全て試みて筋緊張を緩和し動きを促進させる”
10	“整体セラピスト3級検定を想定した部位別の施術を学び、修得する② 肩部：これまで修得してきた手技を全て試みて筋緊張を緩和し動きを促進させる”
11	校内サロンシミュレーションの事前準備、誘導の仕方を学ぶ③
12	“整体セラピスト3級検定を想定した部位別の施術を学び、修得する③ 腰部：これまで修得してきた手技を全て試みて筋緊張を緩和し動きを促進させる”
13	“整体セラピスト3級検定を想定した部位別の施術を学び、修得する④ 大腿部：これまで修得してきた手技を全て試みて筋緊張を緩和し動きを促進させる”
14	“整体セラピスト3級検定を想定した部位別の施術を学び、修得する⑤ 下腿部：これまで修得してきた手技を全て試みて筋緊張を緩和し動きを促進させる”
15	“ランニング後のクールダウンの手技を学ぶ 部位別：上半身施術、下半身施術（各10分施術）”
16	期末試験 まとめ

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
		○		令和 3年度 整体セラピスト学科					
授業科目名	スポーツ実践指導法1			担当者名		蓑田 のり子、白井 俊光			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次	
単位数	2				授業時間数	前期 32	後期	前期	後期
授業概要	背骨の歪みによって身体にどのような症状が起きるかを理解し、背骨の歪みに関して運動を通して調整し自分自身及び他者の身体の不具合を解消する。								
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・小テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する								
その他	蓑田 のり子・白井 俊光（整体院において整体セラピストとして勤務）								

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	背骨コンディショニング インストラクター教本	日野秀彦	学校法人国際学園
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	背骨コンディショニングとは、3要素、理論の説明（P12～15）アライメント検査（P44～46）、腰痛体操（実技）について学び理解する
2	マインド、フィットネスの基礎理論【トレーニング3原理、トレーニング原則、筋トレの中長期プログラム】（P16～20）について学び理解する
3	トレーニング前の注意事項、アライメント検査、神経の痛点チェック、関節を緩める基本の体操（足まわし・上体たおし・坐骨神経ストレッチ・首ゆるめ）を実践しながら学ぶ
4	アライメント検査、関節を緩める基本の体操と背骨の矯正法（片足かゝ足まわし・うつ伏せ足たおし・両足かゝ上体たおし・足かゝ上体たおし・肘伸ばし糸まき）を実践しながら学ぶ
5	アライメント検査、関節を緩める基本の体操と背骨の矯正法（腸脛靭帯ストレッチ・大腿神経ストレッチ・坐骨神経ストレッチ椅子・腰椎ゆりかご・股関節ゆるめ）を実践しながら学ぶ
6	アライメント検査、関節を緩める基本の体操と背骨の矯正法（膝ホップ・膝外ル・開脚膝たおし・脇はさみ足かゝ・おしりゆりかご・仰向け平泳ぎ）を実践しながら学ぶ
7	アライメント検査、関節を緩める基本の体操と背骨の矯正法（星状神経ストレッチ・胸椎上部はめ・頸椎7番はめ・腰椎ゆりかご・股関節外ル・頸椎外ル・胸椎外ル・肩ゆるめ）
8	アライメント検査、関節を緩める基本の体操と背骨の矯正法（腕つかみ肩ひらき・指組み肩まわし・肩入れ・肘つき・肩ひらき・肘かゝ・手首反らし・指ストレッチ）を実践しながら学ぶ
9	アライメント検査、症状に合わせた運動指導、トレーニングサイクル、筋トレ（バックキック・バックランジ・デッドリフト・ニーリフト・タオルギャザー）を実践しながら学ぶ
10	アライメント検査、症状に合わせた運動指導、筋トレ（アブダクション・アダクション・ローワーバック・アップライトローイング）を実践しながら学ぶ
11	アライメント検査、症状に合わせた運動指導、筋トレ（外旋ローイング・ワイドプッシュアップ・ショルダープレス・チンイン・ネックサイドベンド）を実践しながら学ぶ
12	運動指導法の実践（アライメント検査、ROM運動、セルフ矯正法、筋トレ、再検査）、運動指導前後の変化の確認 ①
13	運動指導法の実践（アライメント検査、ROM運動、セルフ矯正法、筋トレ、再検査）、運動指導前後の変化の確認 ②
14	運動指導法の実践（アライメント検査、ROM運動、セルフ矯正法、筋トレ、再検査）、運動指導前後の変化の確認 ③
15	運動指導法の実践（アライメント検査、ROM運動、セルフ矯正法、筋トレ、再検査）、運動指導前後の変化の確認 ④
16	期末試験 解答・解説

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
		○		令和 3年度 整体セラピスト学科					
授業科目名	スポーツ実践指導法2			担当者名		蓼田 のり子、白井 俊光			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期
							32		
授業概要	背骨の歪みによって身体にどのような症状が起きるかを理解し、背骨の歪みに関して運動や手技を通して調整し相手の個々に応じた身体の不具合を解消する。								
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・小テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する								
その他	蓼田 のり子・白井 俊光（整体院において整体セラピストとして勤務）								

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	背骨コンディショニング パーソナルトレーナー教本	日野秀彦	学校法人国際学園
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	1) 有酸素運動とは 2) 有酸素運動の強度設定 3) 運動時間・頻度 4) 有酸素運動の効用 5) 無酸素運動とは 6) 効用 7) デメリットについて学び理解する
2	1) ATPについて：ATPの役割・ATP再合成 2) ADPについて：ADPがATPに同化する方法について学び理解する
3	1) 血圧について 2) 心肥大とスポーツ心臓について 3) 最大酸素摂取量について学び理解する
4	体操：四つ這い胸椎矯正・うつ伏せ胸椎ねじり・神経ストレッチ・梨状筋ストレッチ等を実践しながら学ぶ
5	ペアコンディショニング① 仙骨（持ち上げる・スイング・上部・下部・カエル足）・腰椎・胸椎について実践しながら学ぶ
6	ペアコンディショニング② 股関節外旋・股関節回し・坐骨神経ストレッチ・腸脛靭帯ストレッチを実践しながら学ぶ
7	ペアコンディショニング③ 胸椎側屈・胸椎回旋・肩開き・肩の内旋・肩の外旋・肩こり神経ストレッチを実践しながら学ぶ
8	PNFストレッチ：肩の外転運動・肩の内転運動・屈曲運動・外旋運動・伸展運動を実践しながら学ぶ
9	トレーニング① バックキック、片膝付きバックキック、ハイエルボーローイング正面・背面、アップライトローイングを実践しながら学ぶ
10	トレーニング② プルオーバー、ベントオーバー、レッグエクステンション、レッグカール、レッグレイズ、インナーサイを実践しながら学ぶ
11	トレーニング③ サイドレイズ、リアデルト、ライイング、クランチ、サイドクランチを実践しながら学ぶ
12	パーソナルトレーニングの実践（アライメント検査、ROM運動、セルフ矯正法、手技矯正法、筋トレ、再検査）、パーソナル指導前後の変化の確認 ①
13	パーソナルトレーニングの実践（アライメント検査、ROM運動、セルフ矯正法、手技矯正法、筋トレ、再検査）、パーソナル指導前後の変化の確認 ②
14	パーソナルトレーニングの実践（アライメント検査、ROM運動、セルフ矯正法、手技矯正法、筋トレ、再検査）、パーソナル指導前後の変化の確認 ③
15	パーソナルトレーニングの実践（アライメント検査、ROM運動、セルフ矯正法、手技矯正法、筋トレ、再検査）、パーソナル指導前後の変化の確認 ④
16	期末試験 解答・解説

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校						
			○				令和 3年度 整体セラピスト学科						
授業科目名	ボディケア理論1					担当者名		蓑田 のり子、西津 瞳					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次			
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
						32							
授業概要	リフレクソロジー（足の反射療法）、リンパドレナージュ（下肢）・眼精疲労&ヘッドケア、骨盤矯正の理論と手技の修得を目標とする 身体のあるゆる部位が反射投影され繋がっていることを学ぶ また校内サロンシミュレーションで社会人基礎力・セラピストとしての心構え・接客対応・店舗運営に関するチームビルディングを実践として学ぶ												
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・小テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する												
その他	蓑田 のり子・西津 瞳（整体院において整体セラピストとして勤務）												

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	六花スクールオリジナルテキスト	六花スクール	
参考図書	整体セラピストになる [3級]	山本珠美	B A B ジャパン

回数	授 業 計 画
1	校内サロシミュレーションのフィードバック、次回に向けた心構えについて学ぶ リフレクソロジー ＜理論＞由来や歴史・関係法規・禁忌事項・反射区・基本姿勢について学ぶ
2	リフレクソロジー ＜理論＞反射区・働き・効果の資料にて反射投影される臓器の実際の位置関係と関連する病気・症状について足を用いて学ぶ
3	リフレクソロジー ＜実技・左右＞左足同様にオイル塗布～足裏までの手技を学ぶ 併せて足趾・足関節まわり～軽擦まで学ぶ
4	リフレクソロジー ＜確認テスト実施①＞反射区の理解、手順の習得確認
5	リンパドレナージュ ＜理論＞歴史・リンパ液・リンパの流れ・お客様へのアドバイス・豆知識・注意が必要な場・リンパ節の名称と症状について学び理解する
6	リンパドレナージュ（脚）＜実技＞軽擦のロングストロークの際の立ち位置を確認する 下腿前面・大腿後面の手技を学び、両下肢の一連の流れを把握する
7	校内サロンシミュレーションにて自分を成長させる（社会人基礎力） 施術を施し「ありがとう」と言われる体験をする。合せて店舗運営を学ぶ
8	校内サロンシミュレーションの成果報告とフィードバック、改善点をふまえた施術の復習
9	眼精疲労&ヘッドケア ＜理論＞関係法規・禁忌事項・ツボ（16カ所）・身だしなみについて学ぶ
10	ヘッドケア ＜実技（仰臥位）＞頭皮・頭部のツボへのアプローチを学ぶ
11	眼精疲労&ヘッドケア ＜実技（仰臥位）＞接客対応・誘導・手順の習得確認、時間計測20分
12	骨盤矯正 ＜理論＞骨盤の構造・歪むことでおこる症状、骨盤の性差、産前産後の体の変化や様々な弊害についての学習、禁忌事項について学ぶ
13	骨盤矯正 ＜実技＞腹臥位にて体幹・大腿部のストレッチ、骨盤・背骨のマニピュレーション、骨盤の歪みの調節を学ぶ
14	骨盤矯正 ＜実技＞仰臥位にて足底揺らし、腸腰筋刺激、骨盤の圧迫を学ぶ
15	骨盤矯正 ＜実技＞手順の習得確認・時間計測30分、期末試験対策
16	期末試験 まとめ

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
			○			令和 3年度 整体セラピスト学科					
授業科目名	ボディケア理論2					担当者名		蓑田 のり子、西津 瞳			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							32				
授業概要	猫背矯正・小顔矯正・腸セラピーの理論・手技の修得を目標とする 日頃の生活習慣によっておこる身体の歪みが引き起こす様々な症状を学ぶ また、施術にあたり心構えや接客対応などを校内サロンシミュレーションの実践で学ぶ										
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・小テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する										
その他	蓑田 のり子・西津 瞳（整体院において整体セラピストとして勤務）										

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	六花スクールオリジナルテキスト	六花スクール	
参考図書	整体セラピストになる [3級]	山本珠美	B A B ジャパン

回数	授 業 計 画
1	校内サロンシミュレーション準備として、時間内施術・接遇を徹底するためロールプレイングとフィードバックを実施
2	第3回校内サロンシミュレーションにて自分を成長させる（社会人基礎力） 施術を施し「ありがとう」と言われる体験をする 併せて店舗運営を学ぶ
3	校内サロンシミュレーションの成果報告とフィードバック 猫背矯正＜理論＞猫背になる原因、猫背チェック法、猫背の種類、予防方法、セルフ改善法について学ぶ
4	猫背矯正＜理論＞セルフ改善法について学び実習し、日頃の意識の必要性を体感する
5	猫背矯正＜実技＞（仰臥位）ストレッチポールを用いて前胸部のストレッチ、肩関節周囲の施術、頸のストレッチ・調整を学ぶ
6	猫背矯正 ＜実技＞猫背チェック法と一連の施術の復習、サロン現場で活用できるスマートフォンアプリによる歪み改善チェックの活用方法を学ぶ
7	小顔矯正＜理論＞顔の歪みに関わる癖と疲労、原因となるチェック、顔の骨格のズレを見分ける、セルフマッサージ、顔面の筋肉、頭頸部の神経・リンパ・禁忌事項について学ぶ
8	小顔矯正＜実技＞頸部・顎周囲・側頭筋のほぐし方、頬骨・顎への持続圧を学び施術する 施術の前後の顎関節の開き・頬骨の高さ・顔幅の比較のポイントを学ぶ
9	小顔矯正＜実技＞カウンセリング・写真撮影・施術・施術後の比較まで時間計測20分を行う。フィードバックにて改善点を把握する 小テスト：理解度の確認を行う
10	腸セラピー＜理論＞効果、禁忌事項、腸に良い食べ物・良くない食べ物、消化器系のしくみ、排便のしくみ、便秘のメカニズムについて学び理解する
11	腸セラピー＜理論＞排便のしくみ、便秘のメカニズム、について学び理解する ＜実技＞施術の流れ・圧迫の加減を確認後、時間計測（15分）をする
12	＜実技総復習＞来店⇒カウンセリング⇒施術⇒クロージングまでの実践を積む擬似トレーニングを行う
13	校内サロンシミュレーション準備として、時間内施術・接遇を徹底するためロールプレイングとフィードバックを実施
14	第4回校内サロンシミュレーションにて自分を成長させる（社会人基礎力） 施術を施し「ありがとう」と言われる体験をする。併せて店舗運営を学ぶ
15	校内サロンシミュレーションの成果報告とフィードバック
16	期末試験 まとめ

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校					
					○		令和 3年度 整体セラピスト学科					
授業科目名	テーピング実習1					担当者名		眞田 能彰				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
						32						
授業概要	人体に比較的浅い場所へのアプローチから膜組織の乱れを調節し、筋膜を中心とした機能改善により、リンパ還流の調整、痛みの緩和、歪みの調整などを目的に行うキネシオテーピング療法の基礎を習得する											
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・小テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する											
その他	眞田 能彰（カイロプラクティック院においてキネシオテーピング協会認定実践者として勤務）											

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	キネシオテーピングトレーナー養成講座ワークブック	一般社団法人キネシオテーピング協会	キネシオテーピング協会
参考図書	キネシオテーピング 実技テキスト	一般社団法人キネシオテーピング協会	キネシオテーピング協会

回数	授 業 計 画
1	オリエンテーション キネシオテーピングの歴史・基礎:キネシオテーピング療法について
2	キネシオテーピングの基礎・基本 手首/肘の痛み/腱鞘炎：手首/肘X字/長母指伸筋キネシオテーピング
3	キネシオテーピング基礎 8部位貼布 三角筋/仙棘筋キネシオテーピング
4	キネシオテーピング基礎 膝・下腿貼布 大腿四頭筋/大腿二頭筋キネシオテーピング
5	キネシオテーピング基礎 下腿・足関節貼布 腓骨筋/腓腹筋キネシオテーピング
6	キネシオテーピング基礎 膝・下腿・足関節テーピング実技試験：大腿四頭筋/大腿二頭筋/腓骨筋/腓腹筋
7	キネシオテーピング部位別① スクリーニング実習 上半身のスクリーニングテスト：リンダーテスト2/頸椎伸展テスト/血管膨隆テスト/ライトテスト
8	キネシオテーピング部位別① スクリーニング実習 リンダーテスト2に対するテーピング：中僧帽筋/下僧帽筋/広背筋
9	キネシオテーピング部位別① スクリーニング実習 頸椎伸展テストに対するテーピング：前・中・後斜角筋/頭・頸板状筋
10	キネシオテーピング部位別① スクリーニング実習 血管膨隆テスト・ライトテストに対するテーピング：大菱形筋・棘上筋/棘下筋/上腕二頭筋/上腕三頭筋
11	キネシオテーピング部位別② スクリーニング実習 下半身のスクリーニングテスト：リンダーテスト2/腹圧テスト/パトリックテスト/S L Rテスト
12	キネシオテーピング部位別② スクリーニング実習 リンダーテスト2・S L Rテストに対するテーピング：大腰筋/仙棘筋・外内側広筋/前脛骨筋/腓腹筋
13	キネシオテーピング部位別② スクリーニング実習 パトリックテストに対するテーピング：縫工筋/下肢内転筋群/大殿筋/大腿筋膜張筋
14	キネシオテーピング部位別③ スクリーニング実習 スクリーニングテストからテーピング貼布までの実技試験
15	肩関節に対するテーピング：三角筋/大小円筋/烏口腕筋 手関節に対するテーピング：橈尺側手根屈伸筋、肘関節に対するテーピング：上腕二頭筋/上腕三頭筋/回外筋
16	期末試験 まとめ

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校				
					○		令和 3年度 整体セラピスト学科				
授業科目名	テーピング実習2					担当者名		眞田 能彰			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						32					
授業概要	効果が出る貼り方と理由（＝見立て）を8つのスクリーニングテストで身体の状態を把握し、関節可動域計測、筋肉テストで把握し、適切な長さ・形のキネシオテープの貼り方を習得する。また、病態別の特殊テープではテープに一定の張力をかけて貼る特徴的な方法により、人体各部の皮膚や筋膜・腱などの軟部組織の捻じれや歪みを調整することを習得する。										
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・小テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する										
その他	眞田 能彰（カイロプラクティック院においてキネシオテーピング協会認定実践者として勤務）										

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	キネシオテーピング 実技テキスト	一般社団法人キネシオテーピング協会	キネシオテーピング協会
参考図書	キネシオテーピング部位別筋肉別ワークブック, 特殊テープワークブック	一般社団法人キネシオテーピング協会	キネシオテーピング協会

回数	授 業 計 画
1	キネシオテーピング 部位別③ 実習 手指の関節に対するテーピング：浅指・深指屈筋/長母指屈筋/長母指外転筋
2	キネシオテーピング 部位別④ 実習 頸椎に対するテーピング：肩甲挙筋/頸最長筋/頭最長筋
3	キネシオテーピング 部位別④ 実習 股関節に対するテーピング：腸骨筋/薄筋/下肢内転筋群
4	キネシオテーピング 部位別④ 実習 膝関節に対するテーピング：大腿四頭筋/膝窩筋、 足関節に対するテーピング：ヒラメ筋/腓骨筋/後脛骨筋
5	実技確認試験① フィードバックにて改善点を確認する
6	実技確認試験② フィードバックにて改善点を確認する
7	実技確認試験③ フィードバックにて改善点を確認する
8	コンディショニング&コレクション特殊テープ① 機械的コレクション（I字型）/筋・筋膜保持コレクション/狭間コレクション
9	コンディショニング&コレクション特殊テープ② 靱帯のコレクション（腸脛靱帯）/腱のコレクション（アキレス腱）
10	コンディショニング&コレクション特殊テープ③ 機能的コレクション：頸椎靱帯（頸椎症）/肩鎖関節の傷害（烏口鎖骨靱帯）
11	コンディショニング&コレクション特殊テープ④ 靱帯のコレクション：内側側副靱帯損傷（肘の内側・外側側副靱帯）、外側上顆炎（上腕三頭筋浅筋膜）
12	コンディショニング&コレクション特殊テープ⑤ 上半身の傷害に対するテーピング：尺骨神経痛/手指のPIP関節、 後横隔膜（喘息）
13	コンディショニング&コレクション特殊テープ⑥ 下半身の障害に対するテーピング：仙椎（腰椎分離症・すべり症）、腰椎（腰椎椎間板ヘルニア）
14	コンディショニング&コレクション特殊テープ⑦ 下半身の障害に対するテーピング：膝の外側側副靱帯（腸脛靱帯炎）、 前十字靱帯/膝蓋靱帯（オスグットシュラッター）
15	期末筆記試験 解答解説
16	期末実技試験 まとめ

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校						
					○		令和 3年度 整体セラピスト学科						
授業科目名	ボディケア実習1					担当者名		蓑田 のり子、西津 瞳					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次			
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
						32							
授業概要	「店舗づくりのおもしろさと難しさ」を体験します。選択理論を基礎理論とし、より効果的に人生をコントロールするための実践授業です。職場で起こりえる様々な課題をどの様に解決していくか、疑問や不安に対しサロンシミュレーションで実践し学び、社会人気基礎力を身につけます。												
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・小テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する												
その他	蓑田 のり子・西津 瞳（整体院において整体セラピストとして勤務）												

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書			
参考図書	整体セラピストになる[3級]	山本珠美	BABジャパン

回数	授 業 計 画
1	“セラピストに求められるもの～プロフェッショナルとしての意識を高める 課題や願望を明確にする① 自分発見ワークシート：マイゴール設定のための準備として自分を理解する”
2	“セラピストに求められるもの～プロフェッショナルとしての意識を高める 課題や願望を明確にする② 自分発見ワークシート：欲求プロフィール・チェック自分を理解する”
3	“セラピストに求められるもの～プロフェッショナルとしての意識を高める 課題や願望を明確にする③ 自分発見ワークシート：価値観・信条・理念について学ぶ”
4	“セラピストに求められるもの～プロフェッショナルとしての意識を高める 課題や願望を明確にする④ 自分発見ワークシート：自分取扱説明書を作成する”
5	“整体サロンを創る① 社会人基礎力：整体サロンで自分を成長させる。前に踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力について学ぶ”
6	“整体サロンを創る② チームビルディング：チームという組織作りと、役割を担い役割を果たすことについて学ぶ”
7	“整体サロンを創る③ チームビルディング：整体サロンについて「5W1H」で考える。グループワークで各リーダー選出・店舗名等を決定する。”
8	“整体サロンを創る④ チームビルディング：整体サロンで自分を成長させる自己ブランディングを考察し、グループシェアを行う”
9	“整体サロンを創る⑤ チームビルディング：「こんな仲間と働きたい」チームシェアをしながらチーム毎に目標設定を行う”
10	“整体サロンを創る⑥ チームビルディング：重要性和緊急度を分け第1～4象限について学び、優先順位を考える”
11	“整体サロンを創る⑦ チームビルディング：課題を解決するPDCFAIについて学び仲間からのフィードバックの大切さ、コントロールできることとできないことを学び理解する”
12	“整体サロンを創る⑧ チームビルディング：より良い人間関係を築くための7つの習慣について学び理解する”
13	“校内サロンシミュレーション① チームとして行動すること（役割を担い、役割を果たす）を実践で学ぶ。”
14	“校内サロンシミュレーション② チームとして行動すること（役割を担い、役割を果たす）を実践で学ぶ。”
15	“期末試験対策 校内サロンシミュレーションの振り返り・フィードバック”
16	期末試験 解答解説

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
			○	令和 3年度	整体セラピスト学科				
授業科目名	ボディケア実習2			担当者名	蓑田 のり子、那須 健一				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次	
単位数				1	授業時間数	前期 32	後期	前期	後期
授業概要	“スポーツ選手と非スポーツ選手の外傷・障害の違い、身体の仕組みの違いについて理解するテーピングを用いた固定法を学び、復習テストを行い理解度を確認する”								
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・小テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する								
その他	蓑田 のり子・那須 健一（整体院において整体セラピストとして勤務）								

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	ボディ・ナビゲーション	Andrew Biel、監訳：阪本桂造	医道の日本社
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	校内サロンシュミレーション事前準備として、視診・触診・検査法の復習と反復練習①（蓑田・那須）
2	校内サロンシュミレーション事前準備として、視診・触診・検査法の復習と反復練習②（蓑田・那須）
3	校内サロンシュミレーション事前準備として、視診・触診・検査法の復習と反復練習③（蓑田・那須） タイム測定を行い実践形式で練習を行う
4	校内サロンシュミレーション事前準備として、視診・触診・検査法の復習と反復練習④（蓑田・那須） 受付からベッドまでの導線、誘導のシュミレーション
5	校内サロンシュミレーション事前準備として、視診・触診・検査法の復習と反復練習⑤（蓑田・那須） 受付からベッドまでの導線、誘導のシュミレーション
6	校内サロンシュミレーション事前準備として、視診・触診・検査法の復習と反復練習⑥（蓑田・那須） サロンの一連の流れをデモンストレーション（受付からアンケート回答まで）
7	校内サロンシュミレーション事前準備として、視診・触診・検査法の復習と反復練習⑦（蓑田・那須） サロンの一連の流れをデモンストレーション（受付からアンケート回答まで）
8	スポーツ障害① スポーツ現場においての外傷、外傷に対する応急処置、アスリートと非アスリートの身体の仕組み、関節可動域やけがのリスクについて理解する
9	テーピング実習① ホワイトテーピングとキネシオテーピングの違いを理解する、足部の外傷や障害（足関節捻挫、扁平足など）について図を用いて理解する
10	テーピング実習② 足部の外傷（足関節捻挫など）に対するホワイトテーピングを使った固定の実践、テーピング走行、固定の目的を理解する
11	テーピング実習③ 膝関節の外傷、障害（膝関節十字靱帯損傷、膝関節半月板損傷、変形性膝関節症、オスグッド・シュラッター病など）について図を用いて理解する
12	テーピング実習④ 膝関節の外傷（十字靱帯損傷など）障害（オスグッド・シュラッター病など）に対するホワイトテーピングを使った固定の実践、テーピング走行、目的について理解する
13	テーピング実習⑤ 肩関節周囲の外傷、障害（腱板損傷、上腕二頭筋腱損傷、ルーズショルダー、五十肩など）について図を用いて理解する
14	テーピング実習⑥ 肩関節周囲の外傷（腱板損傷など）障害（ルーズショルダーなど）に対するホワイトテーピングを使った固定の実践、テーピング走行、目的について理解する
15	テーピング実習⑦ 足部・膝関節・肩関節周囲の外傷、障害に対するテーピング固定の総復習、タイム測定を用いてトレーナー現場を意識した固定の実践
16	期末試験 解答・解説

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校					
					○		令和 3年度 整体セラピスト学科					
授業科目名	ボディケア実習3					担当者名		蓑田 のり子、眞田 能彰				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
							32					
授業概要	整体セラピスト検定3級取得を目標に授業を構成する。整体セラピストに求められるコミュニケーション力や基本的な知識・技術を理解し、基本施術や臨床における栄養学・心理学から心身の健康を考え、不調へのアプローチなどの応用力を身に着ける。											
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・小テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する											
その他	蓑田 のり子（整体院において整体セラピストとして勤務）、眞田 能彰（カイロプラクティック院においてカイロプラクターとして勤務）											

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	整体セラピストになる[3級]	山本珠美	BABジャパン
参考図書	ボディナビゲーション ～触って分かる身体解剖～	Andrew Biel	医道の日本社

回数	授 業 計 画
1	整体セラピスト学①：クライアントに安心感・思いやり・親切さを感じていただくためには、言葉遣い・態度・身だしなみが大切であることをポイントを押さえながら学ぶ
2	整体セラピスト学②：コミュニケーションの三大要素である相手・自分・用件を理解し、話し上手聞き上手になるためのポイントを学ぶ
3	“校内研修シミュレーションの振り返り 整体セラピスト学③：入口・玄関・待合室の店内イメージ、窓口対応、施術対応、スタッフ同士に関するチェック項目を確認しながら学ぶ”
4	“整体セラピスト学④：施術の基礎・カリの記載と問診・基礎的問診 ＜実習＞問診 について学ぶ 社会人基礎力を身に付ける：チームビルディング・コミュニケーション
5	“施術実技：腰部施術での説明・自宅における腰痛のアドバイスについて学ぶ ＜実技＞腰部基本施術について学ぶ”
6	“施術実技：肩部施術での説明・自宅における肩こりのアドバイスについて学ぶ ＜実技＞肩部基本施術について学ぶ”
7	“施術実技：膝部施術での説明・自宅における膝痛のアドバイスについて学ぶ ＜実技＞膝部基本施術について学ぶ”
8	“復習：接遇・問診、 ＜実技＞腰部・肩部・膝部基本施術について学ぶ 模擬試験：理解度を確認する”
9	“中間確認テストにて理解度を確認する(筆記のみ) 人体の構成：反射療法・栄養学(バランスのとれた食事・栄養素の過不足の影響)”
10	人体の構成：施術の基礎(施術の影響・原因別アプローチ)、接遇(インフォームドコンセント・窓口対応・施術対応・電話応答・クレームの電話対応のポイント)
11	“人体の構成：骨の基礎(構成・役割・種類・構造・成長・変化・脊柱) 骨模型を用いて視覚的にも確認しながら学ぶ 練習問題① 解答解説”
12	人体の構成：筋肉の基礎(種類・骨格筋の動きと特徴・種類・構成・運動・筋肉の栄養)補助教材を使用し確認しながら学ぶ 練習問題② 解答解説
13	“人体の構成：筋肉の基礎(硬結の発生と身体への影響・起始と停止・心筋と平滑筋・筋肉を強くする・老化と対策) 練習問題③ 解答解説”
14	人体の構成：運動の基礎(屈曲と伸展・内転と外転・回内と回外・内旋と外旋・内反と外反) ＜実技＞実際に動きながら体得する 練習問題④ 解答解説
15	“人体の構成：運動の基礎(筋の協調運動・筋運動の補助・筋の神経)、運動と神経(身体を構成する神経) 練習問題⑤ 解答解説”
16	期末試験 解答・解説

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校			
			○	令和 3年度	整体セラピスト学科		
授業科目名	ボディケア実習4			担当者名	蓑田 のり子、長谷川 徹		
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次
単位数				1	授業時間数	前期 32	後期
授業概要	“整体セラピストとしての手技の修得を目的とする 学園祭サロンシミュレーションに向けて、腹臥位から仰臥位の順で手技をマスターする 併せて、整体セラピストとしての在り方・マナー・心配りなども身に付けていく”						
成績評価	出席状況、授業態度、小テスト、定期試験及び追・再試験の結果で評価する						
その他	蓑田 のり子・長谷川 徹（整体院において整体セラピストとして勤務）						

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	バランス整体療法	ナショナル整体学院 事務局	
参考図書	ボディ・ナビゲーション	Andrew Biel	医道の日本社

回数	授 業 計 画
1	“専門用語を学び理解する 姿勢分析・動診それぞれの診方、記録方法を学ぶことで自身の体の歪みも知る”
2	“学園祭サロンシミュレーションに向けてバランス整体手技の基本を学ぶ① 軽擦～背・腰・臀部へのアプローチ”
3	“学園祭サロンシミュレーションに向けてバランス整体手技の基本を学ぶ② 前回までの復習と下肢後面・足底部へのアプローチ”
4	“学園祭サロンシミュレーションに向けてバランス整体手技の基本を学ぶ③ 前回までの復習と肩甲骨・肩・頸部へのアプローチ”
5	“学園祭サロンシミュレーションに向けてバランス整体手技の基本を学ぶ④ 前回までの復習と腹臥位全体へのアプローチ”
6	“学園祭サロンシミュレーションに向けてバランス整体手技の基本を学ぶ⑤ 下肢前面部へのアプローチ”
7	“学園祭サロンシミュレーションに向けてバランス整体手技の基本を学ぶ⑥ 前回の復習と上肢・胸部へのアプローチ”
8	“学園祭サロンシミュレーションに向けてバランス整体手技の基本を学ぶ⑦ 前回までの復習と肩・頸部へのアプローチ～軽擦”
9	“学園祭サロンシミュレーションに向けてバランス整体手技の基本を学ぶ⑧ 全身施術（腹臥位・仰臥位）を通して学ぶ”
10	“学園祭サロンシミュレーションで実践する① 全身施術（腹臥位・仰臥位）20分計測”
11	“学園祭サロンシミュレーションで実践する② 全身施術（腹臥位・仰臥位）20分計測”
12	学園祭サロンシミュレーションの事前準備として、誘導の仕方・整体セラピストとしての在り方・マナー・心配りなどを学び、身につける
13	“期末試験対策：バランス整体基本手技の技術の向上を目指す① 姿勢分析・動診の復習”
14	“期末試験対策：バランス整体基本手技の技術の向上を目指す② 姿勢分析・動診、軽擦～腹臥位・仰臥位～軽擦までを30分で施術”
15	“期末試験対策：バランス整体基本手技の技術の向上を目指す③ 姿勢分析・動診、軽擦～腹臥位・仰臥位～軽擦までを30分で施術”
16	期末試験 まとめ

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校						
					○		令和 3年度 整体セラピスト学科						
授業科目名	ボディケア実習5					担当者名		蓑田 のり子、長谷川 徹					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次			
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
						32							
授業概要	“整体セラピストとしての手技の修得を目的とする 今回のサロンシミュレーションにむけて更に腹臥位・仰臥位の手技をマスターする”												
成績評価	出席状況、授業態度、小テスト、定期試験及び追・再試験の結果で評価する												
その他	蓑田 のり子・長谷川 徹（整体院において整体セラピストとして勤務）												

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	バランス整体療法	ナショナル整体学院 事務局	
参考図書	ボディ・ナビゲーション	Andrew Biel	医道の日本社

回数	授 業 計 画
1	“今回のサロンシミュレーションに向けて臨床現場で使える手技を学ぶ① 脊柱傍線部・膀胱経2ラインへのアプローチ”
2	“今回のサロンシミュレーションに向けて臨床現場で使える手技を学ぶ② 開脚しての大腿部押圧、膝窩部へのアプローチ、下腿部揉捏”
3	“今回のサロンシミュレーションに向けて臨床現場で使える手技を学ぶ③ 肩甲骨部の強擦、後頭骨下縁部押圧”
4	“今回のサロンシミュレーションに向けて臨床現場に使える手技を学ぶ④ アキレス腱の伸長、大胸筋付着部へのアプローチ、頸部牽引を学ぶ”
5	校内サロンシミュレーションの事前準備、誘導の仕方を学ぶ
6	“今回のサロンシミュレーションに向けて臨床現場に使える手技を学ぶ⑤ 仰臥位での上肢へのアプローチに母指圧、手関節牽引、把握圧を使う”
7	“腹臥位でのストレッチ法を学ぶ 膝関節屈曲で大腿四頭筋を伸ばす、足関節背屈でアキレス腱を伸ばす”
8	“腹臥位でのストレッチ法を学ぶ 肩関節伸展・肘関節伸展で上腕二頭筋を伸ばす、肩関節水平伸展で大胸筋を伸ばす”
9	“仰臥位でのストレッチ法を学ぶ 股関節屈曲・膝関節伸展でハムストリングスを伸ばす、股関節内転・内旋で中殿筋・梨状筋・大腿筋膜張筋を伸ばす”
10	“仰臥位でのストレッチ法を学ぶ 肩関節水平屈曲で三角筋を伸ばす、頸部前屈で僧帽筋・肩甲挙筋を伸ばす、頸部側屈で斜角筋を伸ばす”
11	“腹部へのアプローチ法を学ぶ ソーステストからの大腰筋調整、トーマステストからの大腰筋調整”
12	“腹部へのアプローチ法を学ぶ 波動圧で腹直筋を緩める、股関節屈曲位で腸骨筋を緩める”
13	“期末試験対策：これまで修得してきた基本技術の向上を目指す(ストレッチは導入しない)①姿勢分析・動診、軽擦～腹臥位・仰臥位～軽擦までを25分で施術”
14	“期末試験対策：これまで修得してきた基本技術の向上を目指す(ストレッチは導入しない)②姿勢分析・動診、軽擦～腹臥位・仰臥位～軽擦までを25分で施術”
15	“期末試験対策：これまで修得してきた基本技術の向上を目指す(ストレッチは導入しない)③姿勢分析・動診、軽擦～腹臥位・仰臥位～軽擦までを25分で施術”
16	期末試験 まとめ

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校			
			○	令和 3年度	整体セラピスト学科		
授業科目名	ボディケア実習6			担当者名	蓑田 のり子、長谷川 徹		
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次
単位数				1	授業時間数	前期	後期
						32	
授業概要	“整体セラピストとしての手技の修得を目的とする 次回のサロンシミュレーションにむけて側仰臥位の手技とストレッチ法を修得する”						
成績評価	出席状況、授業態度、小テスト、定期試験及び追・再試験の結果で評価する						
その他	蓑田 のり子・長谷川 徹（整体院において整体セラピストとして勤務）						

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	バランス整体療法	ナショナル整体学院 事務局	
参考図書	世界一わかりやすいパーソナルストレッチ 2	牧谷 祐志	星雲社

回数	授 業 計 画
1	“次回のサロンシミュレーションにむけて側仰臥位の手技を修得する① 前腕を使って大腿筋膜張筋を押圧し緩める”
2	“次回のサロンシミュレーションにむけて側仰臥位の手技を修得する② 腹臥位での臀部7点押しを側臥位でやって緩める”
3	“次回のサロンシミュレーションにむけて側仰臥位の手技を修得する③ 両母指で腹横筋・腰方形筋へ押圧して緩める”
4	“次回のサロンシミュレーションにむけて側仰臥位の手技を修得する④ 手刀を使って前鋸筋を緩める(p 161)”
5	校内サロンシミュレーションの事前準備、誘導の仕方を学ぶ
6	“次回のサロンシミュレーションにむけて側仰臥位の手技を修得する⑤ 肩甲骨を把持して回旋させて動きを良くする(p 160)”
7	“次回のサロンシミュレーションにむけて側仰臥位の手技を修得する⑥ 頸部を側屈させて僧帽筋・斜角筋・を緩める(p 159)”
8	“次回のサロンシミュレーションにむけて側仰臥位の手技を修得する⑦ 大腿筋膜張筋から斜角筋までの手技を通して学ぶ”
9	“次回のサロンシミュレーションにむけて側仰臥位のストレッチ法を修得する① 肩関節水平伸展で上腕三頭筋(p 156)・大胸筋(p 148)を緩める”
10	“次回のサロンシミュレーションにむけて側仰臥位のストレッチ法を修得する② 股関節内転・伸展で大腿筋膜張筋を緩める(p 103)”
11	“次回のサロンシミュレーションにむけて側仰臥位のストレッチ法を修得する③ 肩甲骨を下制する(p 159)”
12	“次回のサロンシミュレーションにむけて側仰臥位のストレッチ法を修得する④ 頸部を側屈させて僧帽筋・斜角筋を緩める(p 159)”
13	“次回のサロンシミュレーションにむけて側仰臥位のストレッチ法を修得する⑤ 上腕三頭筋から斜角筋までのストレッチを通して学ぶ”
14	“期末試験対策：これまで修得してきた基本技術の向上を目指す(ストレッチは導入しない)①姿勢分析・動 診、軽擦～腹臥位・側臥位・仰臥位～軽擦までを30分で施術”
15	“期末試験対策：これまで修得してきた基本技術の向上を目指す(ストレッチは導入しない)②姿勢分析・動 診、軽擦～腹臥位・側臥位・仰臥位～軽擦までを30分で施術”
16	期末試験 まとめ

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校						
					○		令和 3年度 整体セラピスト学科						
授業科目名	ボディケア実習7					担当者名		蓑田 のり子、白井 俊光					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次			
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
						32							
授業概要	環椎骨盤矯正法（APT）の概要、解剖学の略語、検査法の理解と手技の修得を目的とする												
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・小テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する												
その他	蓑田 のり子・白井 俊光（整体院において整体セラピストとして勤務）												

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	ナショナル徒手療法	ナショナル整体学院 事務局	
参考図書	ボディナビゲーション	Andrew Biel、監訳：阪本桂造	医道の日本

回数	授 業 計 画
1	A P T の目的と用語の理解① APT療法の概要、解剖学の略語、リスティング、モーションパルペーション、検査法について学び理解する
2	A P T の目的と用語の理解② 前回の復習、ノッカーの使用法・骨盤の検査・骨盤の調整法の説明について学び理解する
3	A P T の目的と用語の理解③ 前回・前々回の復習、骨盤の検査及び骨盤調整法の実施について学び理解する
4	環椎の検査法①（環椎・軸椎の間隔、環椎の捻転の検査法の説明及び検査の実施）について学び理解する
5	環椎の検査法②（環椎・軸椎の間隔、環椎の捻転の検査法の説明及び検査の実施）について学び理解する
6	環椎のノッカー調整法①（ノッカーの接触点の説明、環椎・軸椎の間隔の調整、環椎の捻転の調整）について学び理解する
7	環椎のノッカー調整法②（ノッカーの接触点の説明、環椎・軸椎の間隔の調整、環椎の捻転の調整）について学び理解する
8	骨盤の検査法（足の長さ、仙腸関節の硬さ、挙上テストの説明及び検査の実施）について学び理解する
9	骨盤の調整法（調整前の検査、足の長さ・骨盤の傾きの調整、調整後の検査の実施）について学び理解する
10	環椎の検査法からノッカー調整法まで（環椎・軸椎の間隔、環椎の捻転の検査、環椎・軸椎の間隔及び捻転の調整）を実践しながら学ぶ
11	骨盤の検査法から調整法まで（足の長さ、仙腸関節の硬さ、挙上テストの検査、足の長さ・骨盤の傾きの調整）を実践しながら学ぶ
12	環椎検査から骨盤調整まで（環椎検査、環椎調整、環椎調整後の検査、骨盤検査、骨盤調整、骨盤調整後の検査）を実践しながら学ぶ①
13	環椎検査から骨盤調整まで（環椎検査、環椎調整、環椎調整後の検査、骨盤検査、骨盤調整、骨盤調整後の検査）を実践しながら学ぶ②
14	環椎検査から骨盤調整まで（環椎検査、環椎調整、環椎調整後の検査、骨盤検査、骨盤調整、骨盤調整後の検査）を実践しながら学ぶ③
15	環椎検査から骨盤調整まで（環椎検査、環椎調整、環椎調整後の検査、骨盤検査、骨盤調整、骨盤調整後の検査）を実践しながら学ぶ④、期末試験の説明
16	期末試験（実技） 評価